JR東日本カップ　2004　第78回関東大学サッカーリーグ戦（前期）１部リーグ　第二節

KOMAZAWA × JUNTENDOU

駒澤大学５－１順天堂大学

昨年は怪我に泣かされた新川。この日、見事復活を果たし公式戦初出場、初ゴールを決めた。（撮影・野澤俊介）

先週の鬱憤を一掃！！
相性の良い順大に大差で勝利！！

駒大サッカーを見せつけた一戦！

「勝ち点３が取れたんでよかったです」。試合後、**赤嶺**は素直に喜びを表現した。開幕戦、黒星スタートという苦汁を味わった駒大。「ねばりだとか頑張る姿勢、そういう基本的な部分をチームがどれだけ取り戻せるかがこの１週間の課題だった」（**小林亮**）。敗戦から駒大サッカーの持ち味である『最後まで諦めない気持ち』をあらためて学んだ選手たち。この日の試合は前節とは見違えるものだった。

前半９分で早くも駒大は先制点をあげる。**赤嶺**が蹴ったボールは相手GK**渡辺**の正面へ飛んだ。そのこぼれ球に反応した**小林竜**がシュート。１度ははじかれるものの**小林**が粘ってゴールに押し込んだ。立ち上がり良い時間帯での得点、ルーキーの活躍に駒大イレブンに笑顔がこぼれた。前半、１得点にとどまった駒大だがゴールまであと一歩といったシュートシーンが幾度となく見られた。

後半に折り返しても駒大優勢の状況は続く。開始早々の１分で２点目が入る。**塚本**のスローインからのリスタート。ハーフライン手前でボールを受けた**赤嶺**のシュートはそのままゴールに吸い込まれた。エースの活躍でさらに勢いづく駒大。50分にはこの日公式戦初出場となる**新川**のゴールが決まり３点目。その後も駒大の勢いはとどまる所を知らず、62分、74分と計５得点をあげた。83分には惜しくも失点を許したが5-1で試合終了。

「今日負けていたらどうなるかわからなかった。大きな勝利だった」と**太**が振り返るように大きな勝ち点『３』を手にした駒大。前節の敗戦から学んだことは計り知れない。勝ちにこだわるプレーができたからこその勝ち点『３』。「大差で勝ったあとの試合はいつも結果が良くないので気を引き締めてもう一度頑張りたい」（**小林**）。次節もこの日の気持ちを忘れなければ結果は自ずとついてくるだろう。今試合のような勝ちにこだわるプレーをみせて欲しい。

（越智千絵子）